

南越前町

子どもの遊び場等整備事業基本計画

令和7年12月

目次

I 現状・課題	1 はじめに	P3
	2 現状	P3
	3 課題	P10
	4 検討の方向性	P10
II 比較検討	1 候補地の選定	P12
	2 候補場所の選定	P13
	3 施設整備検討	P14
	4 騒音調査(主観評価)	P15
III 整備方針	1 基本方針	P17
	2 基本条件	P17
	3 整備概要	P18
	4 整備イメージ	P19
IV スケジュール	1 スケジュール	P21

I 現状・課題

1 はじめに

県内全市町で整備の進む全天候型のこどもの遊び場について、町内のニーズに対応した、特色ある必要な遊び場を確保することにより、こども・子育て環境の充実を図る。

2 現状

(1)こどもの遊び

○子どもの権利委員会・一般的意見17号「休息、余暇、遊び、レクリエーション活動、文化的生活および芸術に対する子どもの権利」(第31条)引用

- 遊び(play):子どもの遊びとは、子どもたち自身が主導し、統制しかつ組み立てる振る舞い、活動またはプロセスである。それは、機会があればいつでも、そしてどこでも行なわれる。養育者は、遊びが行なわれる環境づくりに寄与することはできるものの、遊びそのものは、非義務的なものであり、内発的動機に基づくものであり、目的のための手段としてではなくそれ自体を目的として行なわれるものである。遊びには、自主性の行使および身体的、精神的または情緒的活動がともない、また、集団遊びであれ一人遊びであれ、無限の形態をとる潜在的可能性がある。このような遊びの形態は、子ども時代を通じて変化し、修正されていく。遊びの主たる特徴は、楽しさ、不確定さ、挑戦、柔軟性および非生産性である。これらの要素があいまって、遊びが生み出す楽しみと、その結果として生じる、遊びを続けたいという動機に貢献する。遊びは必要不可欠なものではないと考えられることが多いが、委員会は、遊びが子ども時代の喜びの基本的かつ枢要な側面であり、かつ身体的、社会的、認知的、情緒的および霊的発達に不可欠な要素であることを再確認するものである。

○幼児期までの遊び:「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」(令和5年12月22日、こども家庭庁)引用

- 乳幼児期のこどもの生活の中心は遊びであり、ここでの「遊び」とは、こどもが主体的に興味を持ち、夢中になって心と身体を動かして行う行為である。遊びは何らかの効果を求めてさせるのではなく、それ自体が目的である。
- また、遊びは、こどもが現在を十分に楽しみ、自分の思いを発揮することを通して幸せに生きることそのものであり、ウェルビーイングにつながる。遊びを保障することは、こどもの「楽しい」「したい」という思いや願いを尊重することであり、その中で遊びが変化しながら、やがて自分のやりたいことを成し遂げるための目的のある遊びにもつながっていく。

○学齢期以降の遊び:こども家庭審議会こどもの居場所部会 児童厚生施設及び放課後児童クラブに関する専門委員会 参照

(専門委員会第2期にて、学齢期以降の遊びについて議論が進められている。)

- 遊びとは、こどもの育ちを支える主体的なもの。選択できなければ主体性は生まれないため、選択できることが必要。こどもの願いや思いも含めて話を聞くプロセスが重要。関わる大人の意識を変えていくことが重要。

(2)町内の遊び場等

【近年整備分】

名称	道の駅南えちぜん山海里 キッズルーム	さんかいりパーク	(デゴイチ) D51ぽっぽ広場	河野保育園内 河野子育て支援センター
住所	牧谷第39号2番地の2		今庄	今泉19-48-4
	道の駅の新設、公園の大規模改修		町民プール・テニスコート跡地に新設	河野保育園内空き教室に新設 (河野児童館内の支援センターは閉所)
開設	令和3年10月		令和7年4月	令和7年10月
面積	212㎡	5,952㎡	2,600㎡	45㎡
整備費	7,150千円 (建築費除く遊具等備品。県1/3)	※周辺を含む工事費に含む	125,400千円	3,919千円 (国1/3、県1/3)
利用時間	毎日 10時～17時	—	—	平日 9時～12時
対象	乳幼児～9歳	—	—	乳幼児(主に未就園児)
目的	・天候に関わらず楽しめる屋内の遊び場は子育て支援センターのみであった。南条SA隣接の道の駅建設に併せ、同3階に屋内の遊び場を整備するとともに、隣接する公園を大規模改修し、道の駅3階と公園をロング滑り台で繋ぐなど、公園一体型の施設として整備		・こどもからお年寄りまで幅広い年齢層が遊びや健康づくりが楽しめる ・鉄道のまち今庄ならではの蒸気機関車D51を模した複合遊具等の設置	・園児数の減少等を踏まえ、園内に子育て支援センターを設置することにより、地域の子育て支援を強化する ・利用したいと思えるような環境を整備
整備内容	ミニボルダリング、複合遊具、絵本ラック等 	ロング滑り台、ふわふわドーム、複合遊具等 	ふわふわドーム、複合遊具、高齢者歩行訓練等 	読書、運動等テーマごとの備品整備、エアコン更新 

(3)町内のニーズ

ア 保護者 就学前・小学生児童のいる世帯へのアンケート調査(令和6年3月)

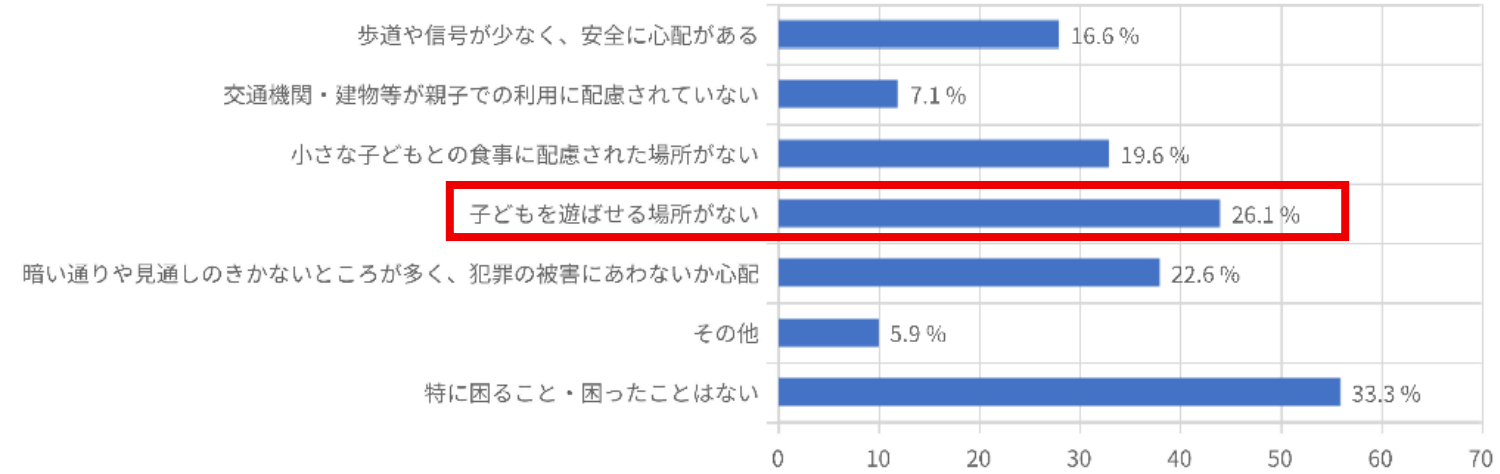
- ・調査対象者：南越前町在住の就学前児童のいる世帯(保護者)、南越前町在住の小学生のいる世帯(保護者)
- ・調査期間：令和6年2月21日(水)～令和6年3月6日(水)
- ・調査方法：WEBアンケート調査
- ・回答状況：調査対象世帯数476世帯、回答件数248件、回答率52.1%

○小学生の遊び場

「子どもの外出の際、困ること・今までに困ったこと」について、就学前児童は「特に困ること・困ったことはない」が33.3%と最も高く、次いで「子どもを遊ばせる場所がない」が26.1%であり、**小学生児童は、「子どもを遊ばせる場所がない」が34.2%と最も高く**、次いで「特に困ること・困ったことはない」が30.0%であった。

子どもの外出の際、困ること・今までに困ったこと

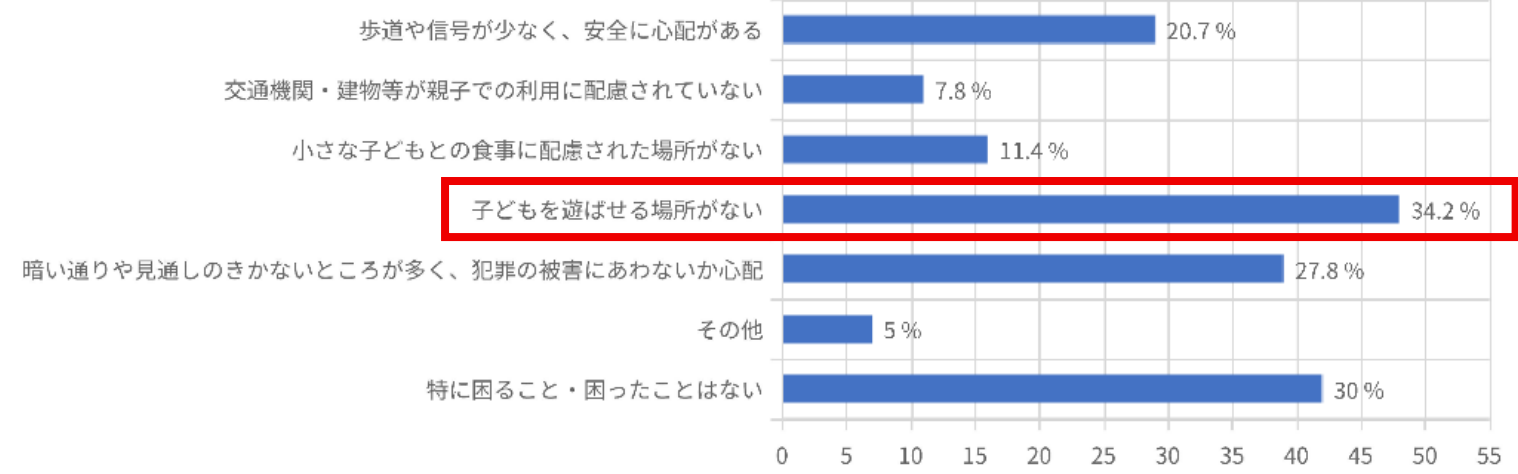
【未就学児童】(N=168)



回答内容	件数	比率
歩道や信号が少なく、安全に心配がある	28	16.6%
交通機関・建物等が親子での利用に配慮されていない	12	7.1%
小さな子どもとの食事に配慮された場所がない	33	19.6%
子どもを遊ばせる場所がない	44	26.1%
暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配	38	22.6%
その他	10	5.9%
特に困ること・困ったことはない	56	33.3%
質問の回答数	161	

回答形式：チェックボックス(複数選択)

【小学生児童】(N=140)



回答内容	件数	比率
歩道や信号が少なく、安全に心配がある	29	20.7%
交通機関・建物等が親子での利用に配慮されていない	11	7.8%
小さな子どもとの食事に配慮された場所がない	16	11.4%
子どもを遊ばせる場所がない	48	34.2%
暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配	39	27.8%
その他	7	5.0%
特に困ること・困ったことはない	42	30.0%
質問の回答数	136	

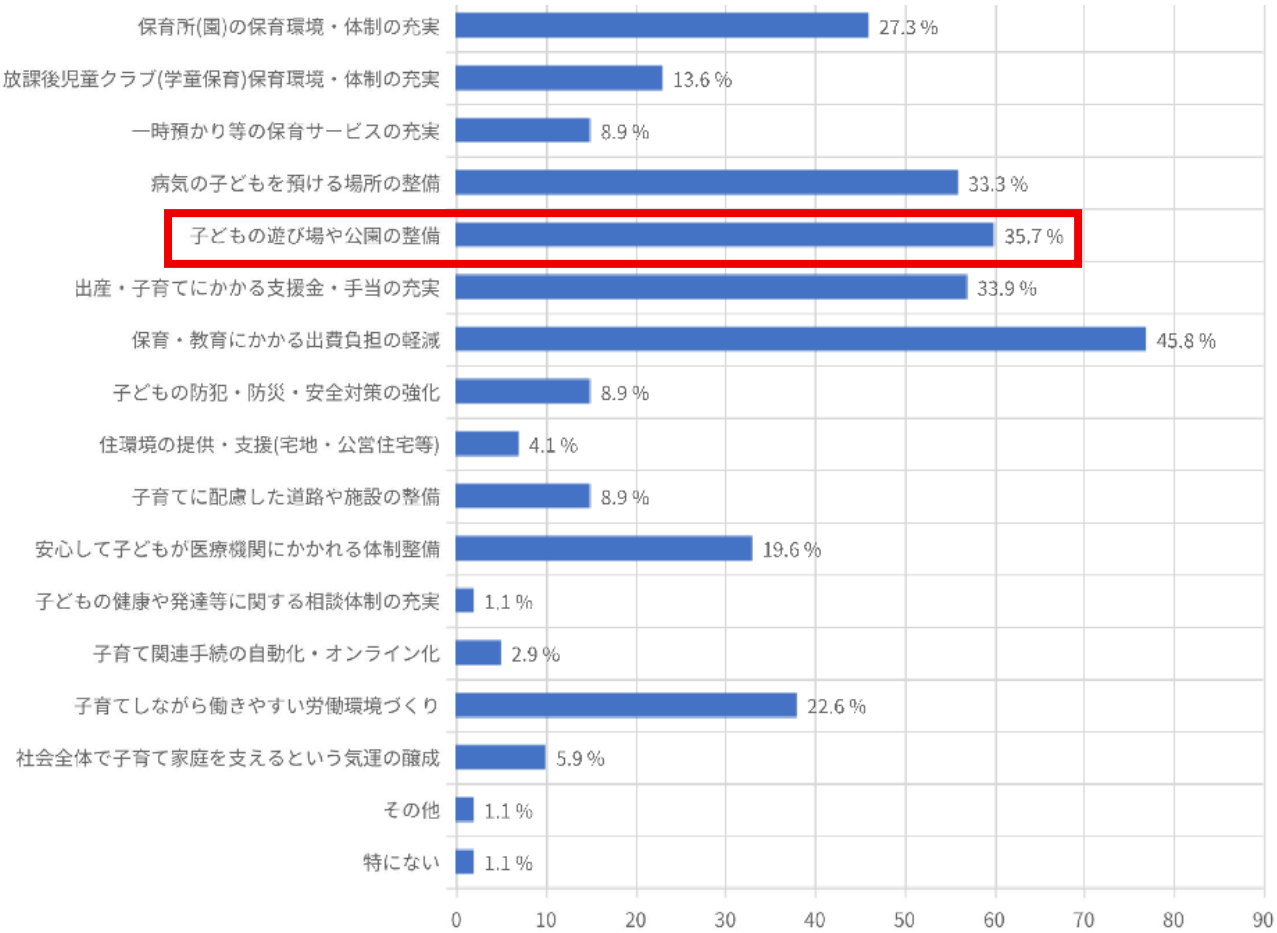
回答形式：チェックボックス(複数選択)

○こどもの遊び場や公園の整備

安心してこどもを産み育てられる町にするために必要な施策として、未就学児童・小学生児童ともに「子どもの遊び場や公園の整備」の保護者ニーズが「保育・教育にかかる出費負担の軽減」の次に高い結果であった。また、「**子どもの遊び場や公園の整備**」のニーズは、未就学児童35.7%、**小学生児童39.2%**と小学生児童が高い。

どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待するか(3つまで選択可能)

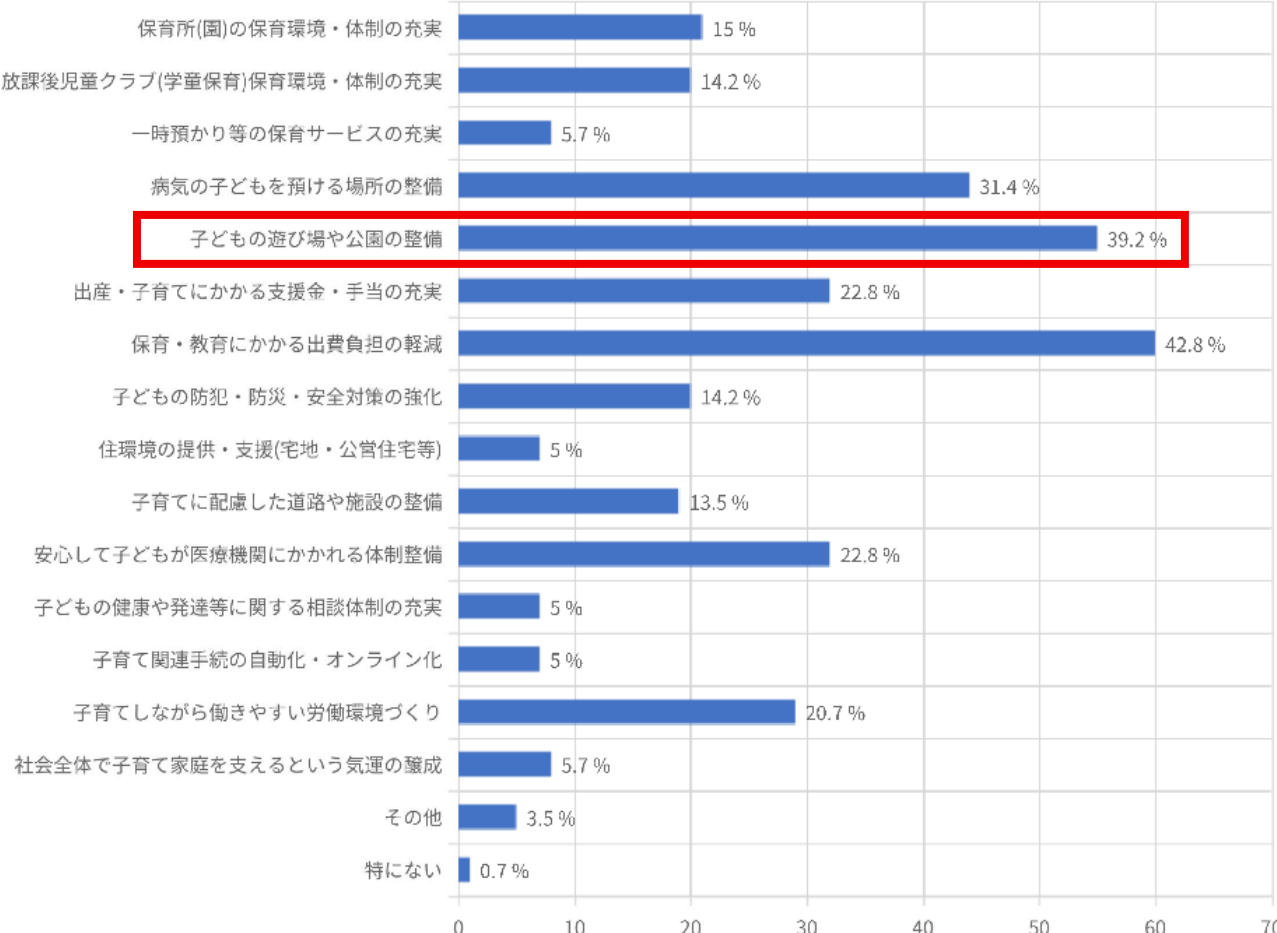
【未就学児童】(N=168)



回答内容	件数	比率
保育所(園)の保育環境・体制の充実	46	27.3%
放課後児童クラブ(学童保育)保育環境・体制の充実	23	13.6%
一時預かり等の保育サービスの充実	15	8.9%
病気の子どもの預ける場所の整備	56	33.3%
子どもの遊び場や公園の整備	60	35.7%
出産・子育てにかかる支援金・手当の充実	57	33.9%
保育・教育にかかる出費負担の軽減	77	45.8%
子どもの防犯・防災・安全対策の強化	15	8.9%
住環境の提供・支援(宅地・公営住宅等)	7	4.1%
子育てに配慮した道路や施設の整備	15	8.9%
安心して子どもが医療機関にかかる体制整備	33	19.6%
子どもの健康や発達等に関する相談体制の充実	2	1.1%
子育て関連手続の自動化・オンライン化	5	2.9%
子育てしながら働きやすい労働環境づくり	38	22.6%
社会全体で子育て家庭を支えるという気運の醸成	10	5.9%
その他	2	1.1%
特にない	2	1.1%
質問の回答数	165	

回答形式：チェックボックス(複数選択)

【小学生児童】(N=140)



回答内容	件数	比率
保育所(園)の保育環境・体制の充実	21	15.0%
放課後児童クラブ(学童保育)保育環境・体制の充実	20	14.2%
一時預かり等の保育サービスの充実	8	5.7%
病気の子どもの預ける場所の整備	44	31.4%
子どもの遊び場や公園の整備	55	39.2%
出産・子育てにかかる支援金・手当の充実	32	22.8%
保育・教育にかかる出費負担の軽減	60	42.8%
子どもの防犯・防災・安全対策の強化	20	14.2%
住環境の提供・支援(宅地・公営住宅等)	7	5.0%
子育てに配慮した道路や施設の整備	19	13.5%
安心して子どもが医療機関にかかる体制整備	32	22.8%
子どもの健康や発達等に関する相談体制の充実	7	5.0%
子育て関連手続の自動化・オンライン化	7	5.0%
子育てしながら働きやすい労働環境づくり	29	20.7%
社会全体で子育て家庭を支えるという気運の醸成	8	5.7%
その他	5	3.5%
特にない	1	0.7%
質問の回答数	139	

回答形式：チェックボックス(複数選択)

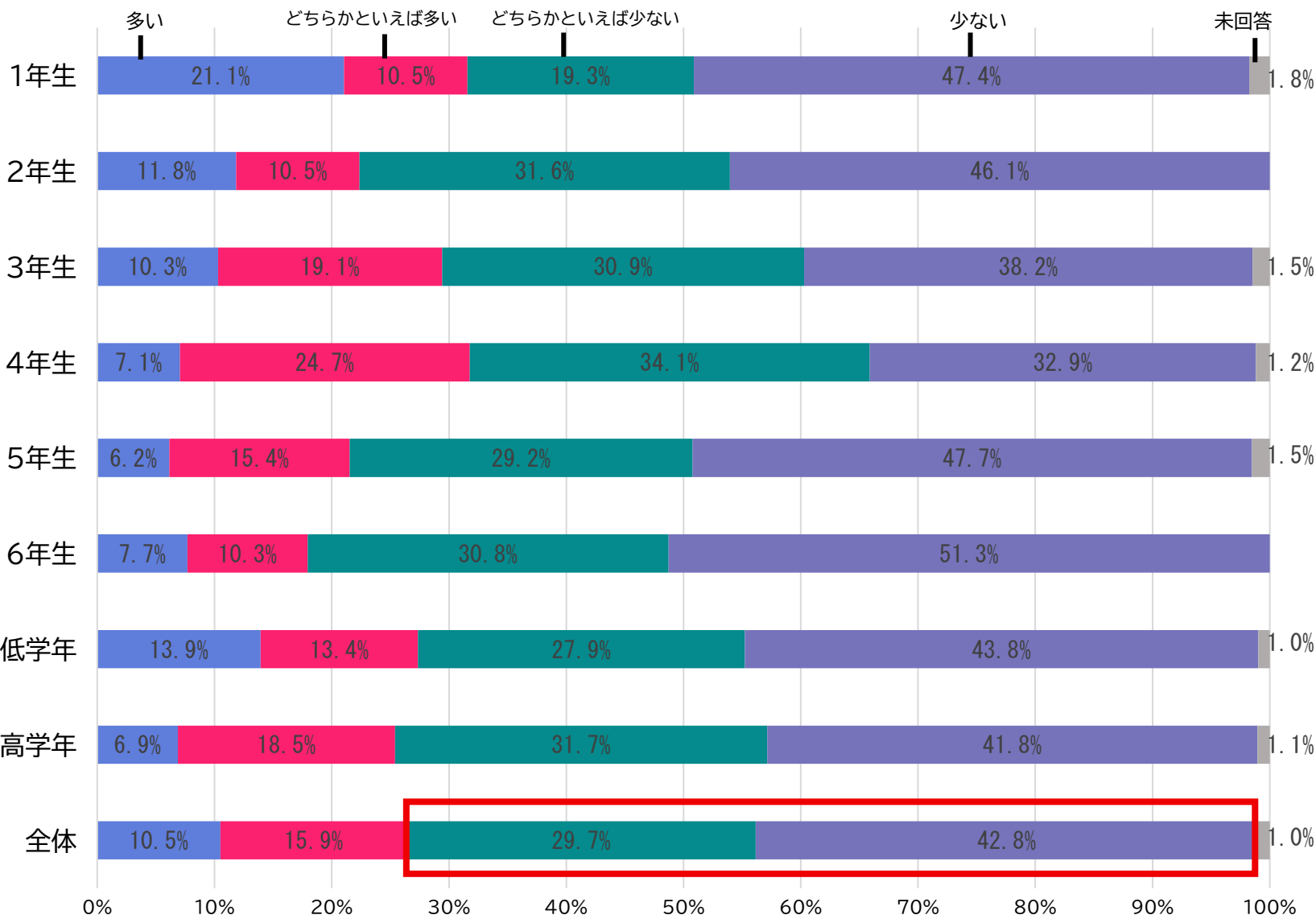
イ 小学生児童 こどもアンケート調査(令和6年10月)

- ・調査対象者:町内に住所を有する児童及び町内の小中学校に通学する児童
- ・調査期間 :令和6年10月15日(火)～令和6年10月24日(木)
- ・調査方法 :小中学校にて調査票を配布・回収(紙及びWEBアンケート調査)、町外の小中学校及び特別支援学校に通学する児童は郵送に配布・回収
- ・回答状況 :調査対象数698人、回答件数646件、回答率92.6%

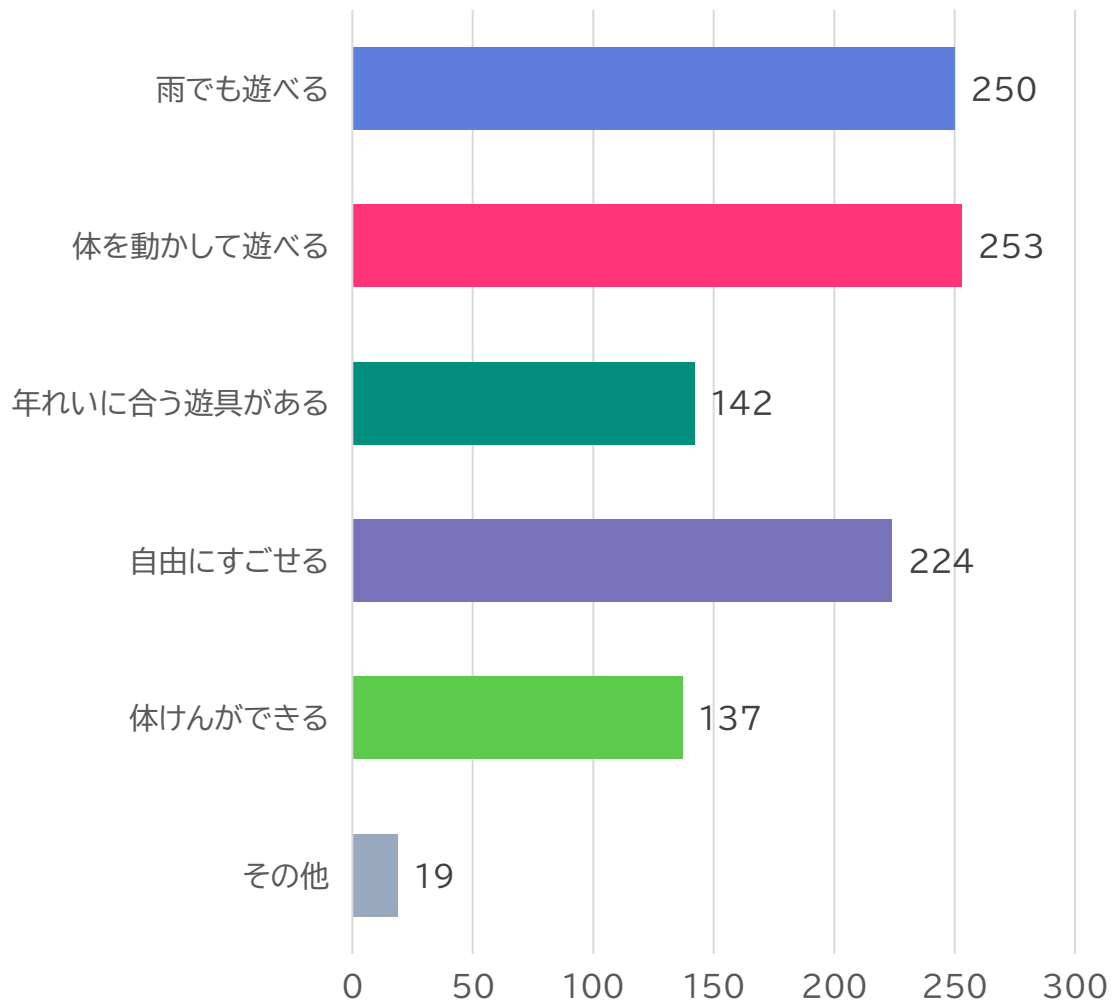
○近くの遊び場

・近くにある遊び場が楽しいと回答した者は8割であった一方、**近くにある遊び場は少ないと回答した者は7割**となった。同調査では、近くにあるとよい遊び場については、「体を動かして遊べる」「雨でも遊べる」「自由に過ごせる」と答える小学生が多い結果であった。また、こどもの幸せ実感については、「体を動かして遊ぶことは楽しいですか」との問いに一定の関連が見られた。

近くにある遊び場は、多いですか。



近くにどんな遊び場があるとよいですか。(複数回答)



○近くに欲しい遊び場

出現頻度の多いキーワード

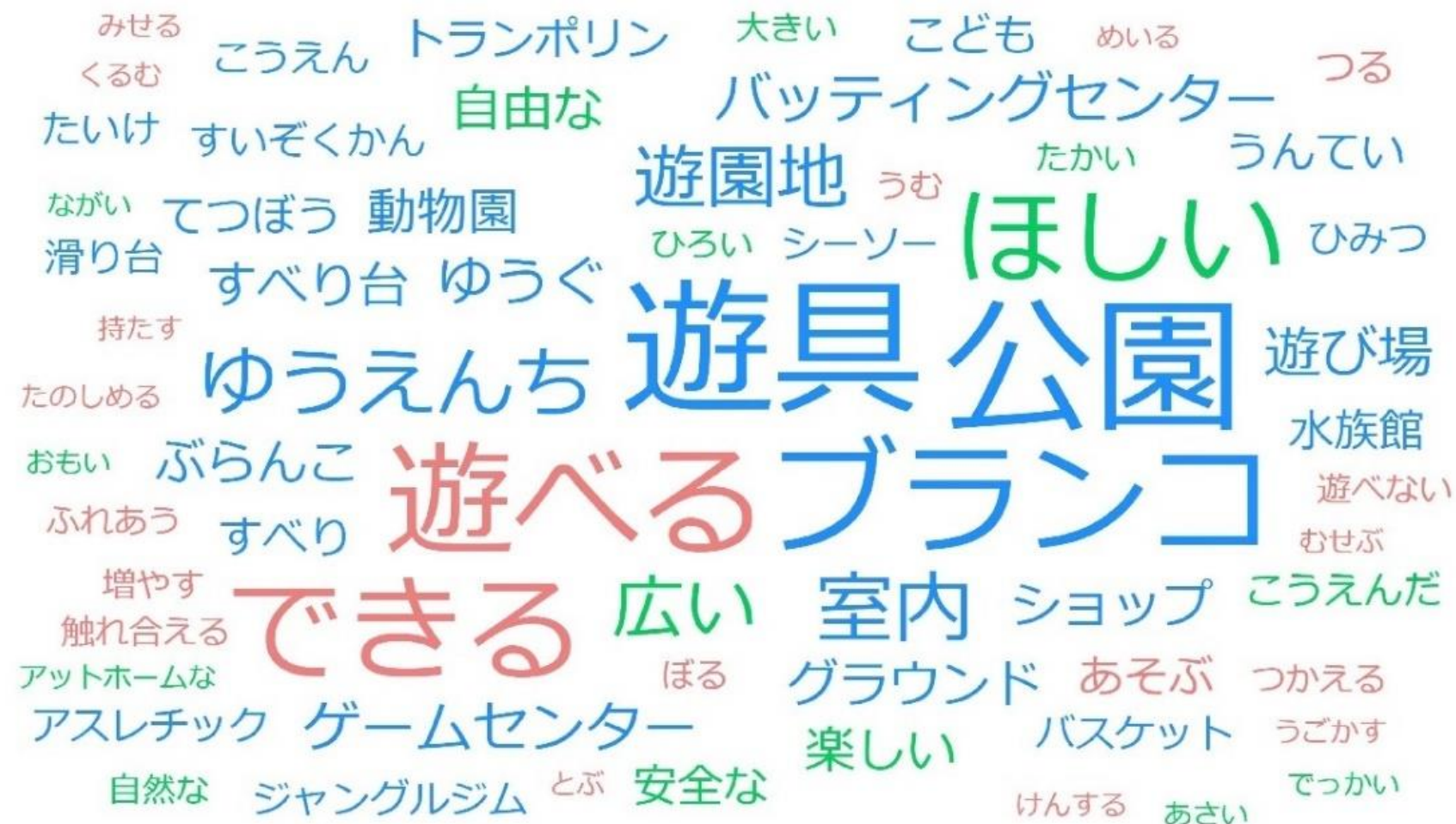
- ・公園 公園が最も多く言及されており、多くの人が基本的な遊び場として求めている。
- ・ブランコ・すべり台 公園の定番遊具に関する設置を希望する声が複数あった。
- ・遊園地 ジェットコースターやメリーゴーランドなど、遊園地にあるような乗り物へに関する記載も多く見られた。
- ・ゲームセンター 室内の遊び場として、ゲームセンターやコインゲームを挙げる意見もあった。
- ・動物・生き物 動物園や水族館等、生き物と触れ合える場所に関する意見もあった。
- ・スポーツ バッティングセンター、サッカー、バスケットなど練習ができる場所のほか、自由に使える体育館を望む声もあった。
- ・雨でも遊べる 天候に左右されずに遊べる屋内の施設を求める声が多い。

その他の特徴的なキーワード

- | | |
|--------|--|
| ・ひみつきち | 秘密基地やツリーハウスといったユニークな場所を望む声もあった。 |
| ・体験 | ものづくりや昆虫観察など、単に遊ぶだけでなく体験できる施設へのニーズがある。 |
| ・その他 | 宿題ができる、自由に安全に自転車に乗れる広い場所、軽食がとれる場所 等 |

そのほか、近くにどんな遊び場があるとよいですか。意見があれば、自由に書きましょう。(自由記述)

【出現頻度順】



ウ 子ども・子育て会議委員意見

○令和5年度子ども・子育て会議 令和6年2月8日(木):こどもの遊び場整備の方向性に関する意見

- 天候に関係なく関係なく遊べる場所が必要。こどもたちは、雨の日にはショッピングセンター内の遊び場、屋内遊園地、友人宅に行って遊んでいた。交流の場を増やしていった方が良い。**全ての地域でこども達が親子で「行きたいね」と思える場所があるとよい。**
- こどもたちはゲームやスマホの使用が多く、どんどん内々になっていくので、外で遊べる場所は今後考えていけるとよい。親子やこども同士で、**コミュニケーションの場**を増やせるよい。
- 子育て支援センターに来所される保護者から、どこに行ったらいいかなという相談もある。これまでは、越前市のだるまちゃん広場に行くという話をよく聞いていたが、山海里パークができてからは、山海里パークに遊びに行く方が増えているようである。大きくなってくるとゲームをするお子さんも増えてくるので、全天候型の遊び場があれば外遊びのきっかけの一つになるのかなと思う。コロナ禍が明けて、縄跳び教室やスキー教室などのイベントが開催されるようになり、こどもたちも楽しかったと言っており、このような企画はとてもありがたいと感じている。
- 全天候型の遊び場の整備については聞いたことがあり、河野のお母さんたちは「遊び場は南条にできるんだろうね」と話していた。習い事をするにしても河野にはなく、南条に行かなければない。同じ南越前町なのでよいが、もう少し考えていただけるといいなと思う。
- 近くにこどもがいないため友達と遊びに行く機会がなかったが、**山海里パークができてからは友達と集まって遊ぶ機会ができた**ようである。しかし、家にいる時間が長い夏休みは暑すぎるため行けなかった。こどもの遊び場ができるなら嬉しい。

○令和6年度子ども・子育て会議(第3回) 令和6年12月4日(水):「こどもアンケート調査(令和6年10月)」を踏まえた意見

- 南越前町のこどもたちの幸福度が高いことは、町の環境が良いということなのではないかと思う。遊び場については、雨の時に行くところ、みんなで遊びたいというところがないということについて実感しているところでもあり、**こどもたちが満足できるような環境に**していければと思う。
- こどもが減ってきており、外で遊ぼうとしても、なかなか外に行っても**遊び相手が近くにいない**という問題もある。地域でもこどもたちがみんな集まれる等、**仕掛け**があるとよいのではないか。
- こどもたちの声を聞いていると、地域差もあるが、南条では大人を誘って小学校で遊ぶということを聞く。今庄では友達が近くにいないため児童館で遊ぶという声を聞く。こどもたちが**気軽に集える場所**があるとよいのかなと、こどもたちの声をから感じた。
- 友だちの家で遊ぶために祖父母が送迎するという話を聞く。こどもがいない集落もある。こどもたちが集まって遊ぶことが難しい地域もある。
- 近くに遊び場があっても、遊ぶ子がいないという子が多い。中学生になると、場所があっても行く手段がないことも課題。
- 各集落の公園の遊具は、時代の流れで撤去されている状況。小学生の遊び場に関する自由記述を見ると、「ブランコ」「すべり台」等の記載が多く見られ、凝った遊具ではなく自分の体を動かして遊ぶことが楽しいのかなということが感じ取れる。

3 課題

① こどもの幸せにつながる遊びの確保

- ・**遊びの重要性**を踏まえた環境
- ・何度も遊びに来たいと思える施設
- ・コミュニケーションの場

② 安全性と自由や楽しさの確保

- ・**安全性**、**自由や楽しさ**とのバランス
- ・年齢や発達段階の異なるこどもの遊びの環境の確保

③ 地域・社会環境等の変化への対応

- ・気候変動や獣害等、環境の**変化への対応**
- ・県内他市町の遊び場との競合性を踏まえた整備及び持続可能な運営

4 検討の方向性

① こどもたちが遊びを作る

- ・**主体的**な遊びができる
- ・**選ぶ**ことができる
- ・**集う**ことができる
- ・**ワクワク**できる

② こどもだけでも楽しむ

- ・容認できない危険を減らすために必要な措置(整備・利用規定)
- ・制約が少なく自由に遊ぶことができる環境設定
- ・十分な**利用想定と必要な対応**

③ 特色ある居場所

- ・**何度も行きたい**と思える仕掛け
- ・適正なコスト(イニシャルコスト、ランニングコスト)
- ・特色のある整備と運営

Ⅱ 比較検討

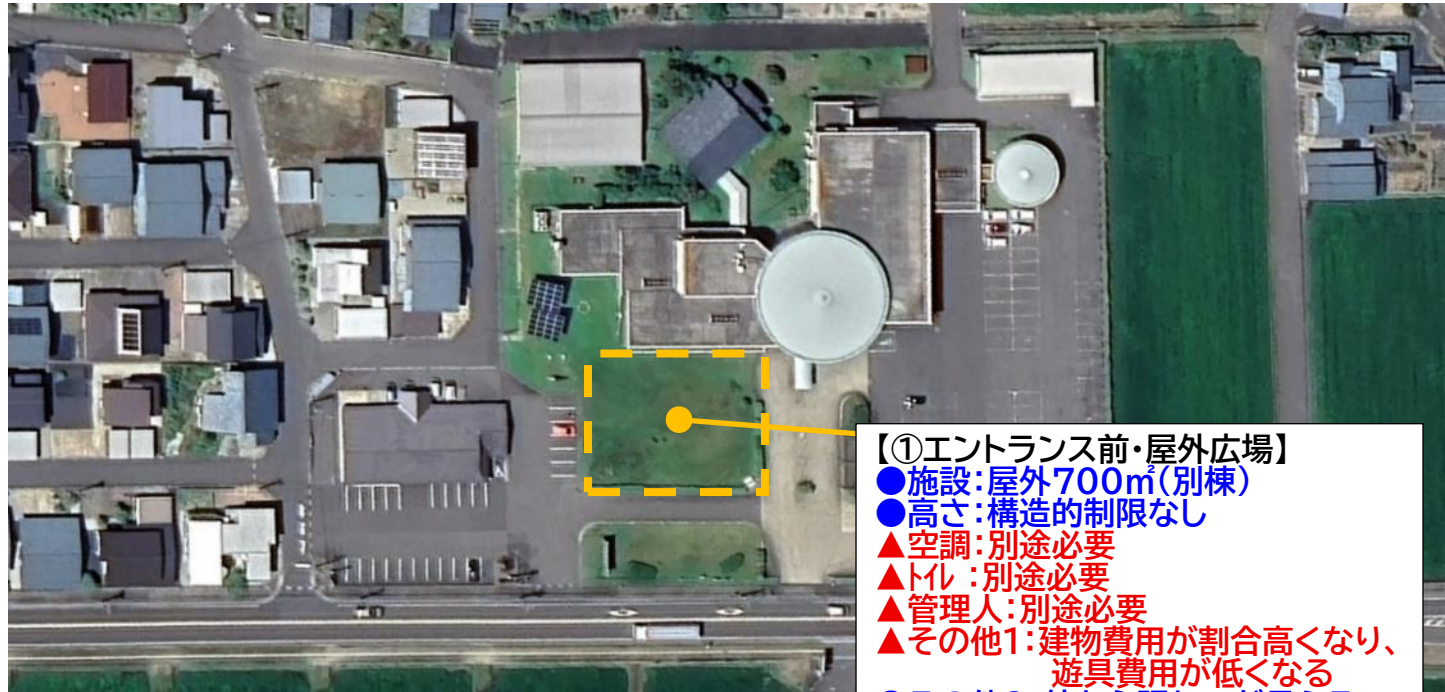
1 候補地の選定

1. 前提条件

(1) 目指すもの	こどもたちが遊びを作り楽しむことができる場所(主なターゲットは小学生)、県内他市町にはない特色のある遊び場、 面積目安『400㎡』(福井県内他市町こどもの遊び場最低面積320㎡程度)
(2) 特に重視するもの	制約が少なく自由に遊ぶことができる環境、木材の活用、適正なインシャルコスト・ランニングコスト
(3) 全体事業費想定	100,000千円～150,000千円(設計・監理・工事・備品整備等全事業費を含む) ※福井県子どもの遊び場整備事業補助金を活用
(4) 候補地	公共施設の建物内または外構を活用可能(管理人有)で、当初の機能が改変可・他で代替可能な場所を選定 ⇒ 候補地:「南条保健福祉センター」「南越前文化会館」

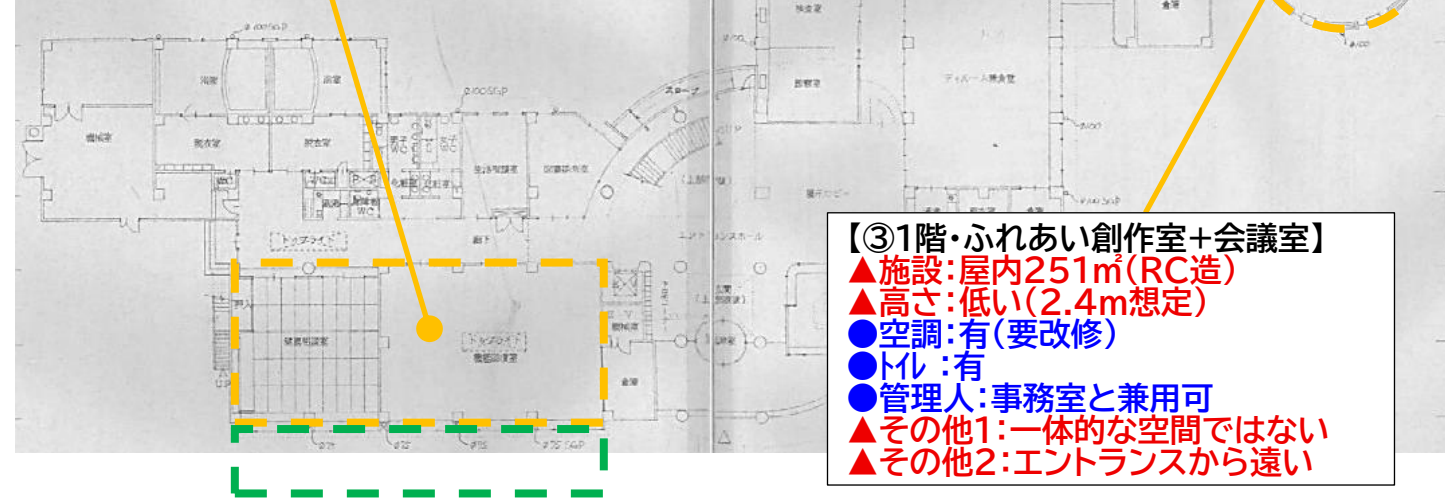
2. 候補地内における候補場所の選定【第1次選定】 ⇒ 概略のメリット・デメリットから、候補場所として②⑥⑦を選定する

南条保健福祉センター

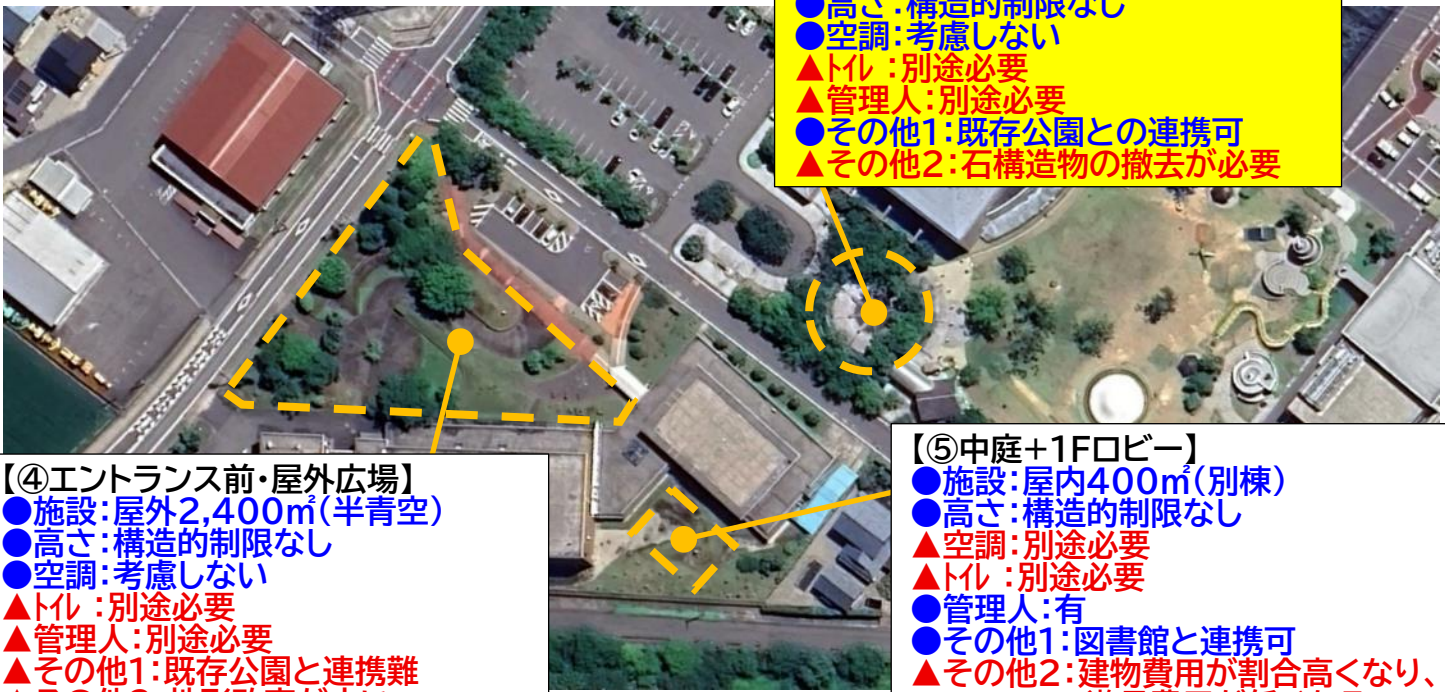


【②1F・健康相談室+機能回復室】

- 施設: 屋内250㎡(RC造)+屋外活用検討
- ▲高さ: 低い(2.4m程度)
- 空調: 有(要改修)
- トイレ: 有
- 管理人: 有
- その他1: 遊び後の浴室利用も容易
- その他2: 屋外活用の場合、外から賑わいが見えやすい

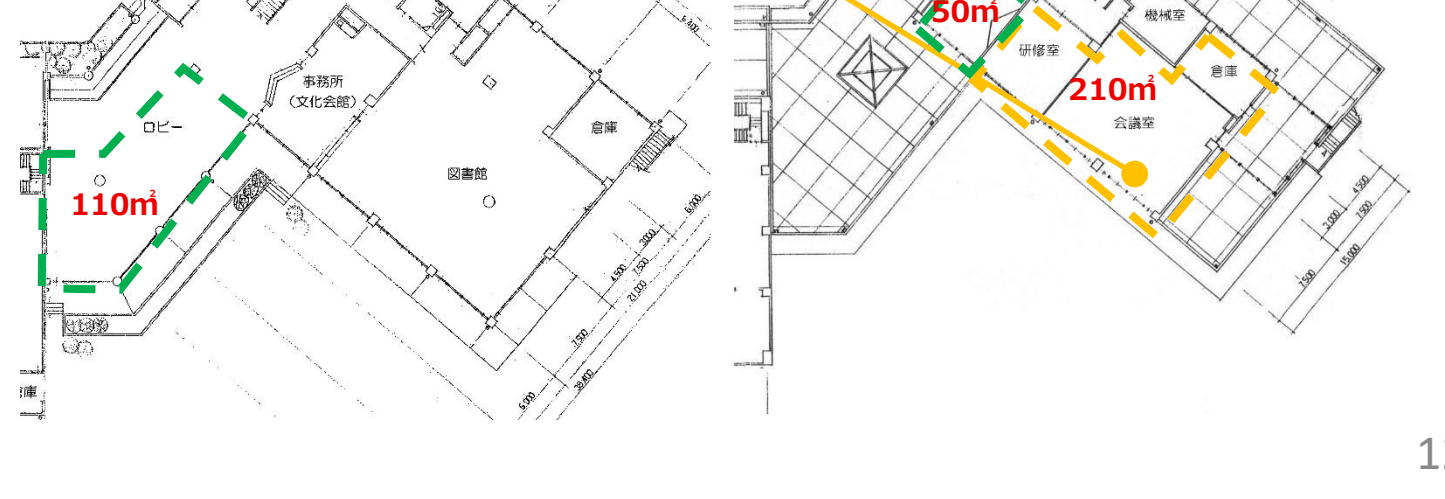


南越前文化会館



【⑦2F研修室・会議室・倉庫+階段吹抜け+1Fロビー】

- 施設: 屋内370㎡(RC造)
- ▲高さ: 低い(2.4m想定)
- 空調: 有(要改修)
- トイレ: 有(要改修)
- 管理人: 有
- その他1: 図書館と連携可
- ▲その他2: 1Fと2Fで離れているため連携が難しい



2 候補場所の選定

3. 候補場所の比較【第2次選定】3案

候補場所		㊤さんかいりパーク・屋外広場	㊤南条保健福祉センター	㊤南越前文化会館
内容案		水遊びと大屋根の空間	木を活用した遊び場	本と遊びの交流広場
		水と遊具が一体となった新しい遊びの拠点 日よけ用の大屋根の中に主に小学生向けの大型遊具	既存建物内は、南越前町の自然を感じられる【木】をふんだんに使用し、あたたかみのある遊び場増築エリアには、背の高い木製遊具を中心に小学生も楽しく遊べる環境	1階ロビーは居心地の良い滞在空間 2階は自由に楽しむことができる本と遊びや体験空間、階段吹抜は本が読めるネットフロア
現状		 	 	 
建物構造		鉄骨造 屋根材は検討	既存RC造＋増築鉄骨造 既存施設と連結 立体遊具は、増築建物内に独立して建設	RC造
面積		●400㎡以上 (屋外のため活用範囲は自由、公園との連携を考慮)	●400㎡程度 (既存250㎡＋増築150㎡;幅25m×奥行6m×高6m程度)	●合計で370㎡程度 ただし、2つに分けるためそれぞれが他より狭い
補助対象		▲半屋内(全天候型ではない)のため、県と要協議	●全天候型のため、補助対象	●全天候型のため、補助対象
空調		▲半屋内のため完全な空調管理は不可 ただし、屋根及び大型クーラー等により暑さ対策を要検討	●屋内は空調あり(要改修) 増築部は空調が別途必要	●屋内は空調あり(要改修)
トイレ		▲屋外のため、公園のトイレを活用 (屋外であり、離れている)	●福祉センターのトイレを利用可(改修も検討)	●文化会館のトイレを利用可 2階は要改修
設備		▲水遊びの水道引き込み(もしくは用水引き込み)。 使用料がかかる電気(照明)も必要に応じて別途必要	●福祉センターの電気、水道で対応 増築部は電気が別途必要	●文化会館の電気、水道で対応
立地		●さんかいりパークの一部として連携可能 さんかいりパークの遊び空間(水遊び)を拡充という考え	●周辺は住宅地であり、日常の遊び場としての利用が想定される	▲さんかいりパークとは道路を挟んだ別施設のため連携は難しい
管理人		▲水遊び遊具には安全上の監視員の必要性検討 濡れた体や靴で遊ぶ際に転倒の危険有	●原則無人、日常管理は福祉センター事務室と兼用可能	●原則無人、日常管理は図書館等との連携検討
バリアフリー等		●屋外平面のためバリアフリーを考慮する	●1F交流スペースはバリアフリーを考慮し、インクルージブルな遊具を設置(立体遊具は考慮しない)	▲2階はエレベーターや車いす昇降機の増設、または、1階機能充実等を検討
利用形態		●屋外のため、自由に利用可能	▲閉館日・時間は利用できない (月8:30～17:00、火～日8:30～22:00、休館:年末年始)	▲閉館日・時間は利用できない (文化会館:平日9:00～18:00、休館:第3日、月祝、年末年始) (図書館:平日9:30～18:00、休館:第3日、月、年末年始)
事業費	建物	コスト 中(屋根材の種類によりコスト増減)	コスト 高(増築のためコストは多い)	コスト 低(内装改修のみとする)
	遊具	コスト 中(屋外部分の費用が補助対象外)	コスト 低(遊具にかけられるコストはやや少ない)	コスト 高(遊具にかけられるコストは最も多い)
	ランニング	コスト 高(水道・電気が別途必要)	コスト 低(既存の設備を利用可能)	コスト 低(既存の設備を利用可能)

3 施設整備検討

【空調更新検討】

○空調更新歴

- ・令和元年11月25日 2階空調設備改修工事
空調の標準更新期間10年を踏まえると今回の事業で更新するのが望ましい。
- ・令和4年10月26日 ロビー空調エアコン入替工事
更新は不要と考えられる。

【エレベーター・昇降機設置検討】

○エレベーター

- ・建物内部においては、エレベーター設置に必要なスペースの確保が困難である。また、建物外部に新たにエレベーター棟を設置する場合、既存建物との接続が技術的に難しいことに加え、工事費用が高額となるため、導入は困難である。

○階段昇降機

- ・既存の階段幅が狭いため、階段昇降機の設置は構造上困難である。仮に設置が可能となった場合においても、車椅子やベビーカー（バギー）を2階まで安全かつ円滑に搬送するための運用方法が新たな課題となる。

○共通の課題

- ・保守点検や故障時対応など、継続的な維持管理コストが発生する。

【防音対策】

- ・2階で発生する音を1階へ伝わりにくくするとともに、空調による熱の流出を抑制するため、出入口部分に扉を新設する計画とする。また、床材更新の際には、仕上材と既存床の間に防音性能を有するクッション材または遮音シートの敷設を検討し、上下階間の音の伝達低減を図る。





【温熱環境対策】

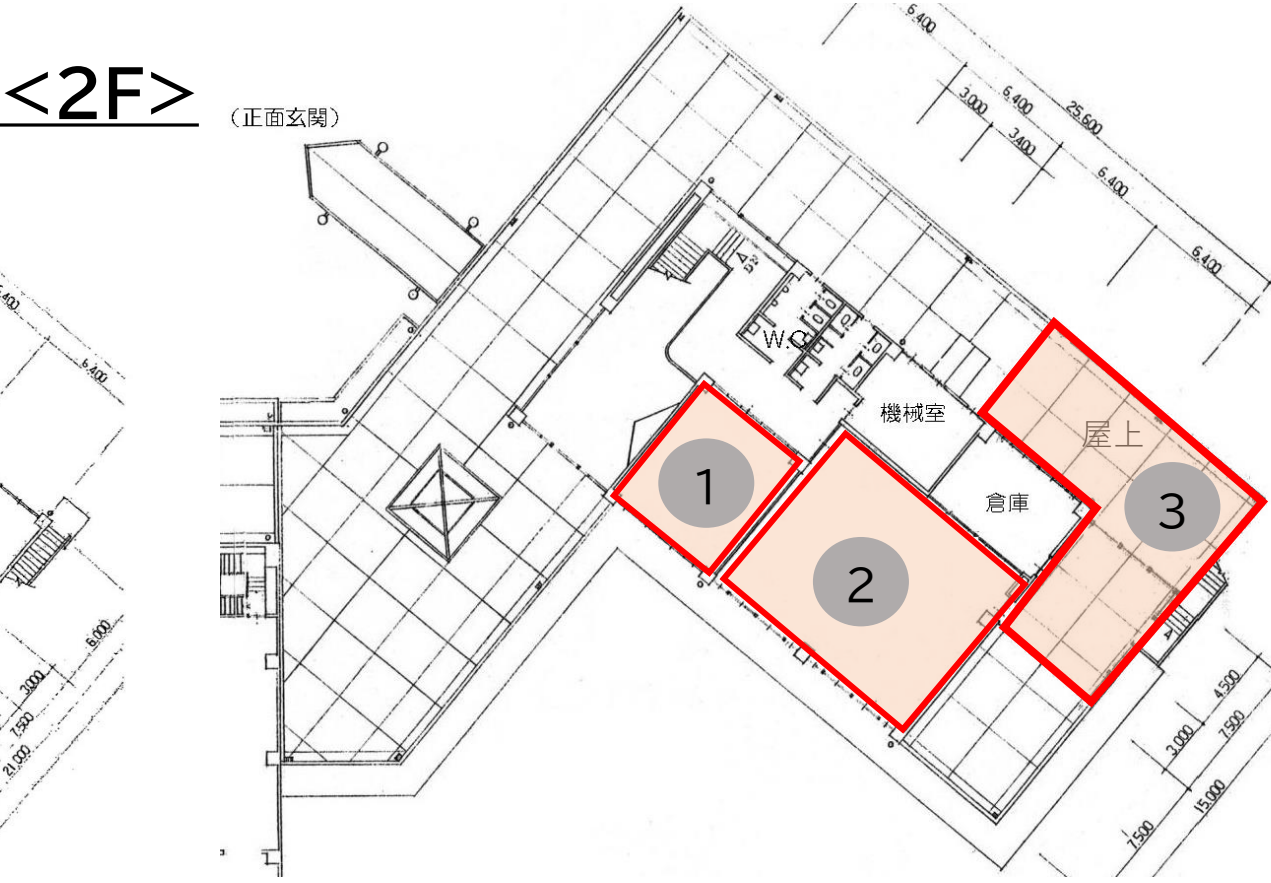
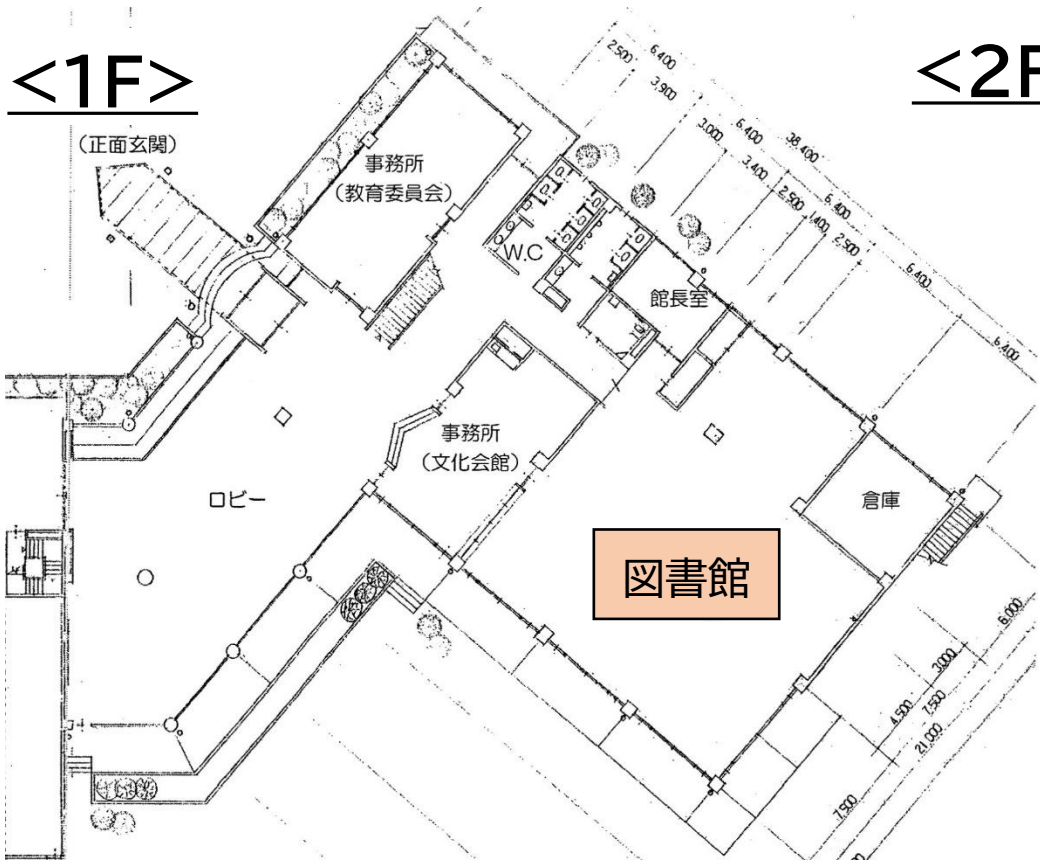
- ・2階全体に空調が均一に行き渡るよう、既存空調設備よりも能力の高い空調機への更新を検討する。
併せて、外気温の影響を抑えるため、既存窓を二重サッシ化し、夏季・冬季双方における室内環境の快適性向上を図る。

4 騒音調査(主観評価)

- ・目的 こどもの遊び場等整備における、図書館利用者への影響を把握するため、騒音調査(主観評価)を実施。
- ・日時 令和7年12月2日(火)11:30~12:00
- ・内容 整備想定場所(2階)において、大人5人で動きや声を出し、1階図書館で2人が評価(主観評価)する。
- ・結果 2階でのジャンプや走る動きは、「ドン、ドン」という音が図書館全体に振動と共に大きく響き、図書館の通常利用に支障がある。
2階での通常の動作(歩く)や会話については、図書館に音が聞こえることはほとんどない。

【表 図書館における騒音調査(主観評価)】

	ジャンプ 	走る 	歩く 	大きい声 	通常の会話 
1 研修室	大きく聞こえる 振動あり	大きく聞こえる 振動あり	ほとんど聞こえない	聞こえる	ほとんど聞こえない
2 会議室	大きく聞こえる 振動あり	大きく聞こえる 振動あり	ほとんど聞こえない	聞こえる	ほとんど聞こえない
3 屋上	かなり大きく聞こえる 大きな振動あり	かなり大きく聞こえる 大きな振動あり	非常に小さく聞こえる	聞こえる	ほとんど聞こえない



※評価指標

かなり大きく聞こえる(多少注意すれば通常の会話が可能)
大きく聞こえる(通常の会話は可能)
多少大きく聞こえる(通常の会話は十分に可能)
聞こえる(会話には支障なし)
小さく聞こえる
非常に小さく聞こえる
ほとんど聞こえない

Ⅲ 整備方針

1 基本方針

- ・ **目指すもの** こどもたちが遊びを作り楽しむことができる場所

令和6年3月保護者調査、同年10月小学生調査の意見を踏まえ、「こどもたちが遊びを作り、楽しむことができる遊び場」の整備を目指す。また、特色ある必要な遊び場とすることで、こどもやその保護者が何度も利用したいと思える、特色のある遊び場づくりを進める。

- ・ **利用対象** 主に小学生の利用を想定

小学生の遊び場整備に係るニーズの高さを踏まえ、メインターゲットは小学生とするが、年齢による制限ができる限りなく、利用を年齢ごとに区分けせず、緩やかに幅広い年齢のこどもが遊び・集う環境とする。

- ・ **整備地** 南越前文化会館(2階会議室、1階ロビー等) (平成7年7月建設、RC造2階建)

公共施設の建物内または外構を活用可能な場所等から選定し、現地調査を踏まえ候補場所を比較検討の上、3案を作成。町子ども・子育て会議の意見を踏まえ、南越前文化会館を活用する。整備面積は、400㎡を目安とする(県内他市町最低面積:320㎡)。

- ・ **コンセプト** 「本と遊びの交流広場」

本に親しみ、座ったりくつろいだりしながら、一人で自由に過ごしたり、友だちと集い話したりすることができる「居場所」

①こどもたちが遊びを作る

- ・ 本と自由に触れられる
- ・ 落ち着いた環境で主体的な遊びができる

②こどもだけでも楽しむことができる

- ・ 制約が少なく、安全に楽しく過ごすことができる環境
- ・ 一人で自由に過ごすことも、友だちと集うこともできる

③特色のあるちょうどいい居場所

- ・ 立ち寄り、滞在したい魅力的な空間
- ・ 持続可能な整備・運営

- ・ **留意事項** 図書館及び文化会館の利用環境に十分に配慮すると共に、利用促進等の相乗効果に繋がる整備

施設内の音環境に影響が出るような動作等(走る、ジャンプをする、大声を出す)を避ける設えを基本とする。施設の配置、デザイン等は、禁止事項を最小限に抑えるような視点での整備を行う。また、多様な利用者に配慮した空間とする。

2 基本条件

- ・ **開館時間** 南越前文化会館に準じる(平日9:00~18:00、休館:第3日曜日、月曜日・祝日、年末年始)

- ・ **利用料金** 無料

- ・ **駐車場** 南越前文化会館と同様(ウォーターランド南条駐車場(150台))

- ・ **その他** ①保育所(園)、児童館等との連携を図り、遊び環境の充実に繋がる運用を検討する。

②維持管理:安全確保や適正な維持管理のための設備設置、清掃や点検等を検討する。また、絵本や玩具等は

適正な更新を行い継続的な利用に繋げるほか、町内児童福祉施設との共有等、効率的な運用について検討する。

3 整備概要

整備箇所は、整備が必須の「整備必須エリア」、提案を任意とする「提案可能エリア」の2区分に分け、

整備必須エリア

提案可能エリア

<1F>

4 展示室
・ワークショップ等場所として活用可能(整備は、可動式のみ)

2 1階トイレ
・天井改修(2階トイレ改修に伴い天井をめくる可能性がある)



3 ロビー
・可動式テーブル・椅子整備



<2F>

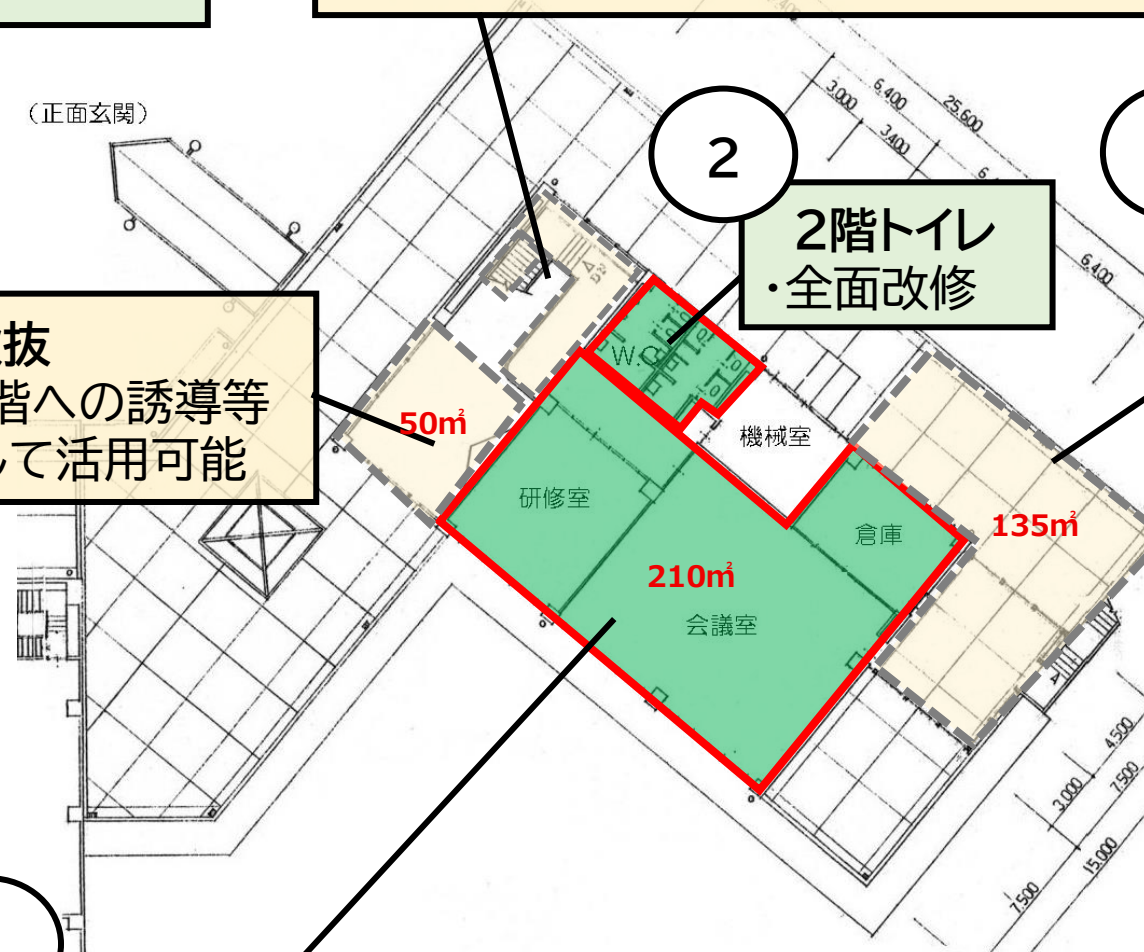
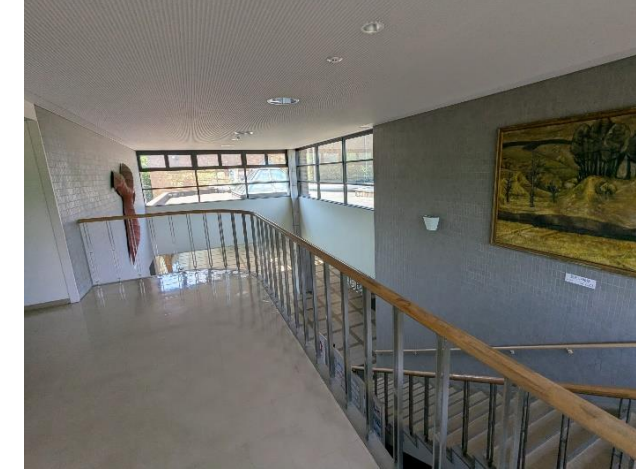
4 階段
・入口への動線として壁面・床等活用可能

4 吹抜
・2階への誘導等として活用可能

2 2階トイレ
・全面改修

4 屋上
・遊び場整備として活用可能(遊具設置、人工芝敷設、柵新設等)
※別の屋上部分も活用可能

1 研修室・会議室・倉庫
・遊び場整備
・入口扉設置
・床、壁、天井改修
・空調更新、内窓設置
・照明LED化
・バックヤード整備
・授乳室・おむつ交換台整備



4 整備イメージ

「本と遊びの交流広場」… ゆったりと本を読み・遊び・交流を図る空間、自由に過ごすことができる居場所

1

※番号は優先順位順

研修室・会議室・倉庫 ※整備必須
遊び場整備

- ・床、壁、天井改修、空調、照明改修、入口扉設置、授乳室、バックヤード整備(必要に応じ)を行う
- ・空調は令和元年度に更新しているが、倉庫部分の活用等能力を上げる必要があること、LED化に併せて天井をめくるため、更新。空調効率の点から内窓設置等も実施
- ・靴の脱ぎ履きは、動線を踏まえて検討



※¹ 例:遊びの小部屋



※² 例:本棚

2

2階トイレ ※整備必須

- ・2階トイレ全面改修を行う。便器改修(和⇒洋)、幼児用便器、おむつ交換台等設置

3

ロビー ※整備必須

- ・可動式テーブル・椅子を設置し、勉強や飲食可能なスペースを確保し、休憩スペースとする。遊具等は、機能を精査し可動できるものとする

4

吹抜 ※提案可能エリア

2階への誘導等として活用

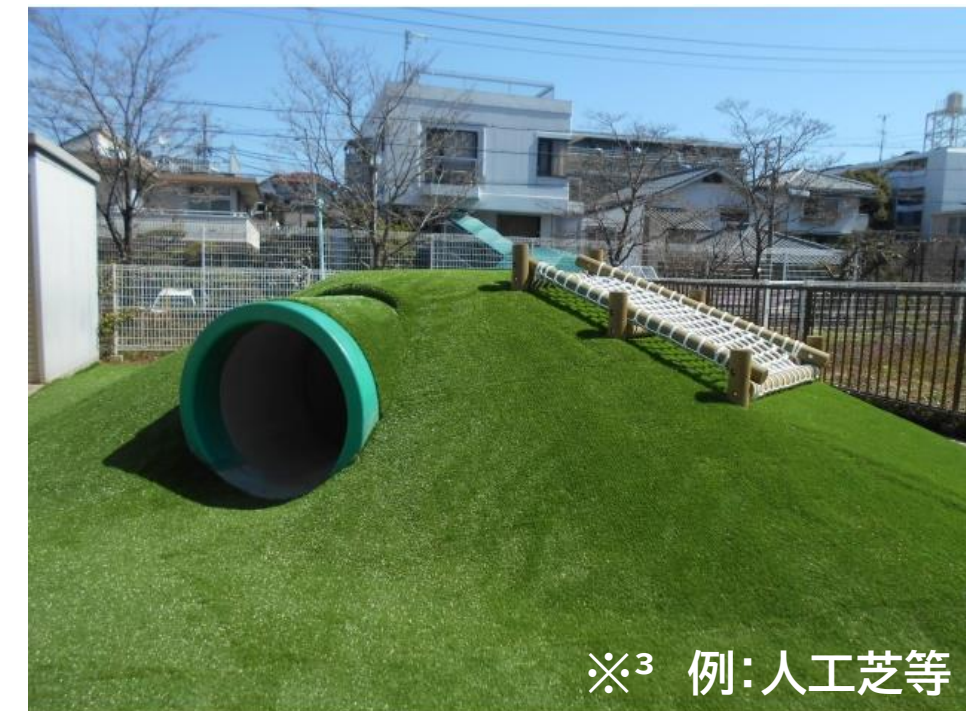
- ・提案可能エリアは、費用とのバランス、必要性等を踏まえ提案可能エリアとする

4

屋上 ※提案可能エリア

遊び場整備(遊具設置、人工芝敷設、柵新設等)

- ・①は210㎡であり、遊び場を400㎡程度確保するため、屋上の整備を検討



※³ 例:人工芝等

※その他、展示室や階段についても、提案可能エリアとし、より魅力ある施設の整備を検討

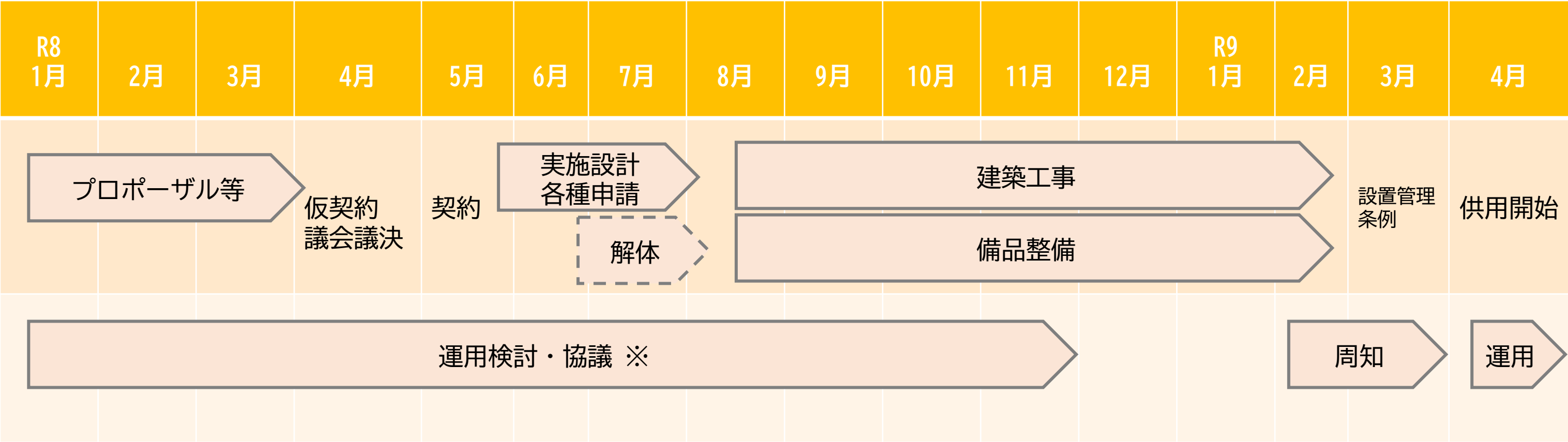
※¹ まちの保育園 こたけむかいはら <https://asobot.co.jp/works/machi-no-hoikuen/>(最終閲覧日2025/12/22 9:33)

※² 石川県立図書館 <https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/category/kids/1039.html>(最終営業日2025/12/22 9:39)

※³ 愛厚昭和荘保育園 https://www.ai-kou.or.jp/child_syowa/2019031812444582.html(最終閲覧日2025/12/22 9:42)

IV スケジュール

1 スケジュール



- ※ 運営検討・協議
- 保育所（園）、児童館職員等と運営や活用について協議
- 内容）・ 施設管理、安全管理、備品管理・使用に係るマニュアル作成
 （清掃、ごみ回収、点検、苦情、記録）
- ・ 導入備品等の活用・更新に係る方針案作成
 - ・ ワークショップ等、継続的な利用に繋がる方策の検討
 - ・ その他、各施設での遊びとの連携関する事項 等

- その他
- ・施設名掲示、サイン掲示(周知物含む)、防犯カメラ設置等、施設に必要な備品等の整備を実施
 - ・利用人数の把握は、機器の活用を想定。混雑状況の可視化等、管理運営上必要な設備等についても検討
 - ・専用電話線は想定しない。Wi-Fiの設置も検討
 - ・受付・管理用スペースは原則不要とするが、ワークショップ等の実施も視野に入れた整備を検討(バックヤード含む)
 - ・管理方法については、運用検討・協議にて精査するが、基本的には新たな人件費を要しない方向で検討(清掃委託等は想定)
 - ・適宜、町子ども・子育て会議の意見等を踏まえて実施